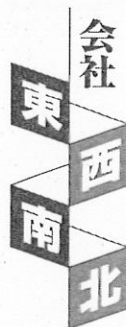


(株) 米五

米五(福井市)

多田 和博社長 ①



* 近畿

新しい伝統築く情報の力

2001年に社長に就任すると、社の理念に「共に成長する」を加えた。若手社員に「一緒に会社を作っていく」意識を持つてもらうためだ。社員教育の一環として、20、30年代に新商品の開発を課しているのもその一つ。若手が綿密に市場調査し、パッケージデザインまで自分で考える。

この取り組みから生まれたヒット商品が、40歳代男性をターゲットにした「カレー味噌」。おかずの一品となるカレー味噌のみそで、10年2月に発売した。テレビ番組で「ご飯に合う」などと紹介され、最初の1年で1万個が売れた。



新商品開発を手がけた若手社員と話す多田社長(左から2人目、福井市で)

全社員に多機能情報端末を支給し、交流サイト「フェイスブック」やツイッターへの参加を促している。社員がブログで紹介したみそ料理のレシピが雑誌に取り上げられたこともある。「あの人が作っているみそなら買いたい」という風に、社員の個性がブランドになる時代。常に情報発信する姿勢が大切だ。

小さな会社が商品を次々に開発していくのは大変だが、その積み重ねこそが老舗の看板を守り、新しい伝統を築くことにつながると信じている。

読売新聞は地域経済を応援します